

2009
OCT.
Vol. 22

社団法人栃木県放射線技師会
情報誌

あすたーと

益子焼の登り窯



■ 益子焼は現在、ほとんどが灯油、電気、ガスなどで焼かれているが、かつては「登り窯」で赤松を燃料に1,300℃近くの高温で焼かれていた。窯の大きさによっては焼き上がりまでに1週間から半月もかかる。益子町には「陶芸メッセ・益子」があり、人間国宝の故・濱田庄司が生前愛用していた「登り窯」も復元されている。また、春と秋には、数十万点の益子焼が並べられる『陶器市』が開かれ、県内外から数十万人が掘り出し物を求めて訪れる。

CONTENTS

- 会 告 平成21年度第2回卒後教育講座(公開講座)開催について 2
- 会 告 第5回栃木県放射線技師会 学術研究発表会演題募集 3
- 報 告 第67回日本放射線技師会定期総会に参加して 4
- 事務局報告 5
- INFORMATION 6

平成21年度 第2回卒後教育講座開催

日 時：平成21年11月7日(土)
14時30分受付開始 15時開始

会 場：栃木県立がんセンター 3階講堂

内 容

- 1、「デジタルマンモとトモシンセシスの現状」
GEヘルスケア・ジャパン株式会社 I&XI セールスマーケティング部
XRテクニカルマネージャー 船木 新壽 先生
※一度の走査で任意の断層面作成！
- 2、「新たなるDual Source CTへの挑戦」
シーメンス旭メディテック株式会社 マーケティング本部
CT事業部 吉田 博和 先生
※息止めなしでも胸部CT撮影可能！
- 3、「進化するフラットパネルディテクタ CXDIシリーズ」
～15mm軽量・薄型タイプの開発と最新画像処理～
キヤノンマーケティングジャパン株式会社 医療機器営業本部
医療機器販売推進課 チーフ 武田 清 先生
※カセットと同じ厚さのFPD！

☆参加費無料☆

今回は公開講座ですので会員以外の方、学生さんも参加できます。
ぜひ最新の画像診断装置情報を勉強してください。

第5回栃木県放射線技師会 学術研究発表会演題募集

平成22年3月14日(日)、国際医療福祉大学において第5回栃木県放射線技師会学術研究発表会を開催いたします。

つきましては、本会の演題を下記の要領にて広く募集します。会員の皆様に多数の研究発表演題を応募いただくよう、ご案内申し上げます。

記

開催日：平成22年3月14日(日)

会場：国際医療福祉大学 0棟 講義室

発表形式：PCによる口述（発表時間7分）

内容：演題名、発表者、共同発表者名を明記し、発表目的を200字以内にまとめてください。
なお、発表者は所属施設名をご記載ください。

申込方法：電子メールで下記までお願いします。

メールアドレス t-gaku@tartnet.com

演題募集：平成21年12月11日(金) 締め切り。

発表抄録：演題が登録された方は平成22年1月29日までに発表抄録を電子メールにて送付ください。抄録書式は登録後発表者に連絡いたします。

〈発表に関する注意事項〉

- ①発表は持参PCにてお願いします。なお、Windowsパワーポイント2003を使用できるPCを準備しますが動画に関してはWindows標準のみとなります。
- ②PCプレゼンテーション画面は1面で、標準VGA（1024×768）を基準としますので、利用端末がWXGA+等での作成に関してはあらかじめ標準解像度に変更し、再生を確認しておいてください。
- ③PC操作は壇上にて演者自身で操作願います。
- ④持参PCの故障を考慮の上、実行委員で準備するPCで動作可能な形式でUSBフラッシュメモリーにファイルを用意しておくようお願いします。

問い合わせ

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1
自治医科大学附属病院 中央放射線部 柳沢三二郎
電話▶0285-58-7238(新館放射線直通)

第67回日本放射線技師会定期総会に参加して

社団法人栃木県放射線技師会

副会長 神山辰彦

(自治医科大学附属病院)

気温 30 度と今年一番の暑さになった鹿児島市で 6 月 6 日(土)、上記の総会が開催された。例年の総会は単独開催だが、今年は第 25 回学術大会の終了後に近隣の会場を使って開催された。非常に狭い会場で前後左右の間隔も狭く、パーソナルスペースを犯された感覚を覚え、長居する雰囲気ではなく早く終了させようとの意図ではと感じさせた。同時期に開催することで、学術大会の参加者を増やす(代議員 200 名程)というメリットがあるのかもしれないが、諸事情により総会のためだけに鹿児島に行く時間的負担(片道で 7 時間)は考慮されておらず、東京での開催を常としてほしい。

北村新体制となって初めての総会となるが、日放技を変えていこうという意気込みは十分に感じられた。冒頭、北村会長は『①分かりやすく②開かれた③信頼される運営』を 3 本柱に全国を行脚し会員の声を集めてきた。修正すべき点は修正してきたつもりであり、その中身の一つに生涯学習システムの見直しと他団体との協調・関係修復が挙げられる。事業の柱は、生涯学習システム、被ばく低減事業などあるが、今年の事業を振り返り皆様からの意見をお聞きしたいと話された。

近年の総会では非常に珍しいことで、順調そして平穩に平成 20 年度議案は審議・承認された。会場からの質疑応答は、**Q** 会員減少の対策は？ **A** 日放技と県技師会と一体で事業をしていく。**Q** 日放技と県技師会の両方に入らず、単独で入会しているが？ **A** 公益法人として別々な会であるが、両方に入会するよう勧誘してほしい。**Q** 定款で常務理事 8 名から 14 名とあるが増員を？ **A** 検討する。**Q** 日放技の公益法人取得状況を情報公開して欲しい？ **A** 会長会議で随時報告していく。**Q** 学術大会の赤字分はすべて日放技がもつべきでは？ (昨年の札幌学術大会：500 万の赤字を北海道技師会 150 万、日放技 350 万を負担する。日放技の理事会で決着済み) **A** 過去に黒字分を日放技から地方技師会に還元すると変えてきた経緯がある。今回の事例を含め検討委員会を立ち上げ提案していきたい。

平成 21 年度議案も順調に進み質疑応答は、**Q** 予算書がわかりづらいが？ **A** 公益法人の予算書に則り科目(内容)を変えてある。詳細を備考欄に掲載するようにしたい。**Q** 看護学の実習を日放技で行えない

か？ **A** 各県にお任せしたい。**Q** 地方技師会に講習会開催の機会(場所)を与えて？ **A** ポイント数などを書いた運営小冊子を配布する。**Q** 免許更新制度の見直しは？ **A** 国民が判断するものである。AD とか技能認定などを実施していくことにつながる。(全技師数の 1/2 以上取得が目標。現在は 12.2%) **Q** 専門技師の行方は？ 技師会が主導すべきでは？ **A** 認定機構で技能検定 2 級以上と考えている。病院経営者が PR できる資格にしていきたい。**Q** (20 年度議案に引き続き) 学術大会の地方技師会の赤字分を考えて欲しい。**A** 先ほど、検討委員会で諮ると申しあげた。※この問題でずいぶん時間を費やしたが、昨年初めて赤字になったから論争となったわけで会計等の資料がなく詳細を判断できない。参加数が見込みより 1,000 人少なかった(洞爺湖サミットのせい?)、学術大会の運営をイベント会社に任せたこと(人件費の増大)など企画・予算・運営上問題はなかったのか？ 赤字分を日放技が負担することは、地方技師会の負担がなくなり良いと思うが、赤字にならないよう(黒字になるよう)努力するモチベーションは？ 学術大会の運営を地方技師会に丸投げするのではなく、日放技が企画時から参画し、指導・助言を与えていくべきだと思う。

最後に、代議員 3 名(茂木会長、福田常務理事、私)で羽田=鹿児島間をともに行動してきた。桜島が運よく？(島民には申し訳ない)噴火し降灰の体験、福山黒酢の壺畑、名産品(芋焼酎・黒豚・きびなご・さつまあげなど)の堪能など、大変遠い所であったが、ある意味楽しく総会に参加することができた。お二人にこの場を借りて感謝



申し上げます。噴火中の桜島を見ながら、私もマグマ(情熱やストレス)を時々噴火しなければと思い、鹿児島をあとにした。追記、おみやげの黒酢(最高級品)で黒酢ダイエットに挑戦中である。成果にご期待ください？

◀ 噴火中の桜島の溶岩台地

TART INFORMATION CORNER

■地区卒後教育講座から

平成21年度 第3地区卒後教育講座

- 日 時▶平成21年11月11(水) 18:30受付 19:00開会
 場 所▶栃木県済生会宇都宮病院 グリーンホールA
 演 題▶「JPTECとは～チーム医療のために～」
 講 師▶小杉 佳人 先生
 救急救命士、JPTECインストラクター、日本循環器学会認定BLSインストラクター、
 日本ACLS協会認定ACLSインストラクター
 参加費▶無料
 ☆当日は飲みものをご用意いたします。

■地区卒後教育講座から

平成21年度 第4地区卒後教育講座

- 日 時▶平成21年12月5(土) 14:30受付 15:00開会
 場 所▶佐野厚生総合病院 講義室2
 佐野市堀込町1728 TEL 0283(22)5222
 内 容▶会員による意見・情報交換を目的とした座談会
 <テーマ>
 1、MRI乳腺撮像の実際 座長 足利赤十字病院 中室 智之
 パネラー 足利赤十字病院 早乙女加苗
 佐野厚生総合病院 田中 潤子
 佐野市民病院 長沢 雅史
 2、CT撮影の疑問に答えて(アンケート調査を中心に)
 座長 足利赤十字病院 久保田健夫

※なお、生涯学習カウントが付与されますので、技師格カードを持参してください。

社団法人栃木県放射線技師会情報誌

あすたーと

2009
OCT.
Vol. 22

編集・発行 発行人 茂木 常男
 社団法人 栃木県放射線技師会
 〒320-0024 宇都宮市栄町5-7 栄町別館内
 TEL・FAX 028-625-7979
 銀行振込:足利銀行本店 (普通)1785921
 郵便振替:00340-3-35730
 URL <http://www.tartnet.com/> E-mail tart@ce.mbn.or.jp